

高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画施策評価表

資料6

基本目標1		高齢者が活躍できる地域づくりの推進		1		社会参加の推進		
施策・事業	計画の概要	施策の展開	数値表	現状評価	課題	次期計画での方向・考え方	担当課	
(1) 老人クラブの活性化	老人クラブは、高齢者の生きがい・健康づくり活動を促進する組織として重要な位置を占めていることから、高齢者の更なる社会参加を促進するため、老人クラブ連合会及び単位老人クラブに補助金を交付し、その活動を支援しています。しかしながら、会員数は減少傾向にあることから、活動の継続が困難となっているクラブも存在します。	第7期計画においても、引き続き補助金を交付するほか、高齢者の社会参加が促進されるよう、新規クラブの設立、あるいは合併も視野に入れ、活動の活性化を支援していきます。また、老人クラブ連合会と連携し、健康づくり研修会やグラウンドゴルフ、ゲートボール大会等の開催を通じて、高齢者の健康保持と生きがいづくりを図っていきます。	★	単位老人クラブ(美祢地域19団体、美東秋芳地域14団体(うち3団体は休会中のため除く)の合計30団体)に対し、また老人クラブ連合会についても補助金を交付していることから、会員の活動支援となり、高齢者の生きがい・健康づくり活動を促進するものとして老人クラブの活性化につながっていると考えられる。	年々単位老人クラブの数やその会員数が減少傾向にあり、既存のクラブについても、一部活動の継続自体が難しくなっているところも存在する。	今後も継続し、補助金の交付について行う予定である。活動の継続が困難になっているクラブについては、市老人クラブ連合会や市社会福祉協議会等の関係機関と連携し、会員の確保やクラブの活動継続について検討し、引き続き高齢者の健康保持と生きがいづくりに向けての支援を行うことでクラブの活性化に努める。	高齢福祉課	
(2) 高齢者の活動の場づくり	高齢者の生きがいと社会参加の促進、閉じこもり予防を図るため、各地区の集会所等で自主的に運営している「ふれあいいきいきサロン」や介護予防を目的として結成された自主グループに補助金を交付し、その活動を支援しています。自主グループ数は徐々に増加傾向にあるものの、「ふれあいいきいきサロン」については、担い手の高齢化により活動の継続が困難となっている団体もあり、担い手の育成が課題となっています。	第7期計画においても、引き続き補助金を交付し、高齢者による自主的な通いの場づくりを支援していきます。また、介護予防リーダー養成講座を開催し、活動の担い手となるボランティアの育成支援に努めていきます。	★	介護予防を目的とした自主グループについては、発足後活動を中止したグループはなく、年2か所程度増加している。一方で介護予防リーダー養成講座は参加者が減少傾向にある。	グループによっては担い手の交代が行えなかったところもあるが、高齢であったり、負担を感じていることにより活動の継続が難しくなっているグループもある。	自立支援重度化防止の視点から介護予防を効果的に行うためにも地域における通いの場の充実是不可欠である。老人クラブ等の地域住民団体と連携し、今後も活動できるグループを増やしていくとともに、現在活動しているグループへの支援を継続していく。	高齢福祉課	
(3) 就労の促進	市内3か所所でハローワークによる就職相談を実施しているほか、美祢市就職相談室においても高齢者からの就労相談に応じています。また、高齢者の持つ経験や技能、知識等が十分に活かせるよう、シルバー人材センターの事業推進の支援に努めています。	第7期計画においても、ハローワークと連携を図りながら、高齢者の就労の場の確保に努め、相談者の希望に沿った支援を継続的に行うとともに、求人情報の収集を積極的に行っていきます。また、高齢者の豊富な経験や技能、知識等を社会に活かせるよう、シルバー人材センターの運営を支援し、幅広い就業機会を確保することで、高齢者の更なる生きがいづくりや社会参加を促進していきます。		市内3か所所でハローワークによる就職相談を実施しているほか、毎月2つの企業による就職面接会を実施しています。美祢就職相談室においても、高齢者からの就労相談に応じています。また、シルバー人材センターへ補助金を交付し、事業推進の支援に努めている。	毎月行っている、美祢ミニ就職面接会への参加人数が少ないため、ハローワークと連携を深め、高齢者でも就労しやすい企業を選出してもらうなど、高齢者の就労機会を増やす。	第8期計画においても、ハローワーク及び美祢就職相談室と連携を図りながら、高齢者の就労の場の確保に努めます。また、引き続きシルバー人材センターへ補助金を交付し、高齢者の豊富な経験や技能、知識等を社会に活かせるよう運営を支援し、幅広い就業機会を確保することで、高齢者の更なる生きがいづくりや社会参加を促進していく。	商工労働課	

基本目標1		高齢者が活躍できる地域づくりの推進		2		生涯学習・生涯スポーツの推進		
施策・事業	計画の概要	施策の展開	数値表	現状評価	課題	次期計画での方向・考え方	担当課	
(1) 生涯を通じた学習機会の提供	山口県立大学・美祢市サテライトカレッジや人権教育に関する講座、市民大学講座、各公民館での活動など多様な生涯学習の場を提供しています。また、生涯学習団体の活動を支援するとともに、指導者やボランティアの発掘・育成に努めています。	第7期計画においても、市民の多様なニーズに対応した講座や学習機会を提供していきます。また、引き続き指導者等となる人材の発掘や後継者の育成に努めるとともに、公民館等を中心とした地域活動の活性化を図ることで、生涯学習への参加を通じた閉じこもり予防対策を推進していきます。		講座等は、市民会館だけでなく美東センターや秋吉公民館など会場を変え、多くの方々が学べるように開催した。また、各公民館でも地域の特色を生かした生涯学習に繋がる活動を行ってきた。	参加者がなかなか集まらない。	引き続き、さまざまなニーズに合った生涯学習の場を提供する。また、参加者が集まりやすい開催日時や会場を検討したり、広報の方法を工夫したりする。	生涯学習スポーツ推進課	
(2) スポーツ・レクリエーション活動の活性化	身近な場所でスポーツが楽しめるよう、ニュースポーツや軽スポーツの普及に努めるとともに、運動や健康づくりの基礎となるウォーキング等の取組を推進しています。また、多様なスポーツ・レクリエーションの指導者の育成と確保に努め、指導体制の充実を図るとともに、ニュースポーツフェスティバル等を開催し、その普及に努めています。	高齢者がスポーツ・レクリエーション活動に取り組みやすい環境づくりを進め、その普及に努めるとともに、指導者の育成を推進していきます。		ニュースポーツの普及に努めるため、毎年、ニュースポーツフェスティバルを開催している。また、指導者の資質向上を目的とした、各種研修会への参加を呼びかけ、指導者の育成に努めている。	指導者の高齢化が進んでおり、後継者の確保が必要となっている状況である。	今後も、ニュースポーツの紹介や普及に努めるとともに、指導者の育成と確保に努め、スポーツ環境の充実を目指す。	生涯学習スポーツ推進課	